

令和4年度八尾市認知症地域支援推進員業務実施報告書

1. 地域におけるネットワーク体制の支援

| 実績 | 評価と今後の課題 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 関係機関に対してPR 204回 (事業所・集会所等訪問、チームオレンジ活動など) 地域ケア会議への参加 19回/2人 *アルツハイマー月間イベント(9月)開催 認知機能集団検査“ファイブ・コグ” オレンジパトロール(見回り、清掃活動) 認知症啓発上映会“令和ヨシコの物語” *認知症啓発イベント 八尾市合同オレンジカフェ“間違ってもいいコンサート”開催 | <ul style="list-style-type: none"> 関係機関へのPRに関してはオレンジティッシュや認知症ケアパスを個別訪問や行政機関、包括などで配架して啓発を行なうが限定的である。 地域ケア会議へ出席し、オレンジパトロールなどの活動報告を行うことで認知症本人の社会参加支援の啓発を行なうことができた。 アルツハイマー月間では、認知症本人も参加したイベント活動をチームオレンジとしておこなった。 合同オレンジカフェでは、認知症サポート医の参加や障がい施設と連携して開催し多くの参加者がきた。 |

2. 地域における認知症高齢者やその家族を支援する相談支援や体制の構築

| 実績 | 評価と今後の課題 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 相談件数 227件(延べ件数) 実人数 81人 【内訳】家族(32)件、関係機関(49)件 <ul style="list-style-type: none"> 若年性認知症の相談件数 10件 相談から医療機関と連携 15件 地域包括支援センターと連携 80件 認知症サポーター養成講座 33回 (キッズサポーター、地域展開型、常設型など) 認知症オレンジパートナー養成研修 1回 オレンジパートナーのつどい 1回 認知症キャバンメイト・オレンジカフェ連絡会 1回 包括介護予防・家族介護教室、事業所勉強会など 34回 オレンジパトロール 28回(3地域) おれんじ教室“脳りちゃん” 220回(7か所) おれんじルーム(認知症介護者交流会) 6回 | <ul style="list-style-type: none"> 認知症に関する相談窓口として”やおオレンジダイヤル”の啓発をオレンジティッシュ等で行うことで、本人、家族からの相談件数の割合が増えている。内容は、認知症ケアのこと専門医受診先、地域の社会資源に関するものが多くなっている。相談内容の中では、若年性認知症への社会資源の課題がある。 昨年度より、MCI、認知症初期の方の集い場所としておれんじ教室を開催すると多くの当事者も参加している。参加者同士の繋がりができ一人一人の居場所作りにもなっている。 キッズサポーターは学校側、包括の協力にて、ほぼ予定通りの養成講座を開催できた。 認知症サポーターの活動意欲のある方の“オレンジパートナー”に34名登録者ができ、活動機会も定期的に確保で来ているが活動するパートナーは限定されている。 おれんじルーム(認知症介護者交流会)を立ち上げることができた。認知症介護という同じ悩みを伝えあうことで“自分だけではない”思い持てる場となっている。家族支援として多くの地域での開催は課題。 |

3. 認知症ケア及び医療との連携体制構築に対する支援

| 実績 | 評価と今後の課題 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 認知症疾患医療センターと連携 11件 認知症初期集中支援チーム員会議 10回 関係機関との会議に参加 70回 認知症カフェ開催 21回 中河内地区認知症をともに考える会 2回 認知症対応力向上研修実施 施設職員向け2回 (ABC分析による認知症ケア：レクチャー編、ケーススタディ編) | <ul style="list-style-type: none"> 認知症疾患医療センターと定期的に認知症の地域課題や地域活動の情報共有を行うことで連携協力ができた。 中河内地区の認知症施策関連の行政、専門職、認知症サポート医とともに意見交換することができた。今後も継続開催し、広域での支援体制構築を目指す。 認知症対応力向上研修は幅広く専門職が参加できるようなテーマ、実施方法、実施場所は検討課題である |

4. 事業の推進に関すること

| 実績 | 評価と今後の課題 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 大阪府認知症地域支援推進員連絡会 1回 多職種連携研修への参加 1回 認知症地域支援推進員(現任者、初任者)、フォローアップ研修 3回 各種研修、勉強会、講座、認知症疾患医療センター受診同席(OJT)等へ参加 98回 | <ul style="list-style-type: none"> 全国認知症地域支援推進員研修を通じて、常設型のサポーター養成講座の開催を実現した。メイト同士の交流、参加機会の確保や若年世代の講座参加も増えてきている。 認知症鑑別診断の同席をすることで、診断前後の本人、家族の課題を抽出、診断に至るプロセスを知ることによって相談業務や地域への啓発方法に役立っている。 |